表題

予稿フォーマット

このテキストボックスおよび書面の文字は消去してお使いください。

段組および余白の変更はしないでください。

本文のフォントサイズは9ポイント以上、行数(行間)調節は自由です。

予稿集を編集する際、全体の体裁を多少調節させていただきます。

著者所属学校名　氏名(学年)　共著者氏名(学年)　共著者氏名(学年)　共著者氏名(学年) 共著者氏名(学年)

はじめに（ゴチック）

表題について、調査・研究・観察などをしようと考えた動機・目的・意義などを簡明に記述する。また、中間報告であれば、その旨も記述する。一般に、全文の１割程度の文章量とするのが適当。

研究等の方法

どういうところに注目し、どのようにして調査・研究・観察などを行ったか、また、用いた資料、機器等についても記述する。全文の３割程度の文章量とするのが適当。図表や写真を掲載してもよい。

結果・考察など

得られた成果を、よく整理して記述する。また、判明した問題点や要改善事項などがあれば記述する。図表や写真を掲載してもよい。

おわりに（まとめなど）

総合的な結論、今後の課題や研究姿勢、謝辞などを記述する。全文の１割程度の文章量とするのが適当。